

令和3年度第4回横須賀市市民協働審議会 議事概要

日時：令和4年（2022年）3月18日（金）

10：00～11：30

場所：横須賀市役所3号館3階 302会議室

【出席委員】志村委員、安部委員、石塚委員、工藤委員、島田委員、山本委員、渡邊委員

【欠席委員】小倉委員、門井委員、手塚委員、

【事務局】市民部 鶴飼部長、小実課長、櫻井係長、平田主査、里吉主任、加藤主任

【傍聴者】3名

<配付資料>

- 資料1-1 令和4年度市民協働推進補助金事業の審査結果 非公開
- 資料1-2 市民協働推進補助金の交付及び市民協働モデル事業の選定に係る審査結果について（答申）案（審議会コメント含む） 非公開
- 資料1-3 市民協働推進補助金と市民協働モデル事業の概要 非公開
- 資料2 令和3年度市民協働推進補助金応募団体の計画変更に伴う補助金戻入について
- 資料3 市民協働モデル事業「オープンデータ普及啓発事業」の終了について
- 資料4 市民公益活動団体WEBアンケート集計結果について

<議事内容>

1 開 会

会議の成立。（委員10名中、7名出席のため、会議は成立。）

会議資料の確認。

次第の「1 審議事項」において審議会意思決定の中立性及び公正な審議を確保するため、この部分を非公開とすることについて、全委員の承認を得て決定。

2 審議事項

令和4年度市民協働推進補助金・市民協働モデル事業の審査結果について 非公開

審議の結果、令和4年度市民協働推進補助金・市民協働モデル事業の審査結果については専門部会の審査結果通り承認。

委員長から部長あて答申書を手交。

3 報告事項

（1）令和3年度市民協働推進補助金応募団体の計画変更に伴う補助金戻入について

事務局 （資料2を説明）

（質問なし）

(2) 市民協働モデル事業「オープンデータ普及啓発事業」の終了について

- 事務局 (資料3を説明)
- 委員長 全国で、いろいろな団体の事業が自治体との協働事業として委託される例はあるが、そういったなか横須賀のモデル事業として開始し、そこから発展して市と事業を行うようになるのは理想的である。担当課から話があったのか。
- 事務局 担当部局から、正式に連携協定を結ぶことになったので、モデル事業という形は解除したうえで、行っていきたいとの申し出であった。
- 委員 発展的に解消したという事だが、この団体は任意団体である。当該団体に法人格を取得させるつもりはないのか。このような内容の事業を行うのであれば、一般社団法人など、法人格を取得させることを勧めたほうが良い。
- 委員長 このような形での解消は初めてか。
- 事務局 モデル事業期間終了後に委託契約に繋がることはあったが、期間途中の解消で、連携協定を結ぶといったケースはない。
- 委員長 協働事業となるきっかけを作るというのがモデル事業なので、理想的な流れである。どのような経緯でモデル事業から連携協定へ転換し解消に至ったかについては、今後のためにきちんとヒアリングし、記録することが大切である。仕事を発注する側のメリット・デメリットなどもしっかり検証し、今後活かしてほしい。
- 委員 業務委託についての話が出たが、業務委託となった場合というのは、随意契約なのか、それとも競争入札なのか。
- 事務局 随意契約となる可能性はある。
- 委員 今後も発展的に解消されるケースが発生するかもしれない。そういった時のために、このような団体については、法人格をとってもらった上できちんと育成していくことも必要ではないか。

(3) 市民公益活動団体WEBアンケート集計結果について

- 事務局 (資料4を説明)
- 委員 とても意義深いアンケートである。担い手不足や高齢化などは常々課題として感じている。回答数が少ないと感じた。今後アンケートを行うことがあった時のため、回答数を増やすことについて検証できたらと思う。市民公益活動団体の活動が、どんどん活性化し、団体同士で一緒になるなど活動をしていけたらと強く思う。
- 事務局 回答率についてだが、当初は市の公式LINEを使ってWEB配信する予定であった。LINEであれば無作為抽出の任意の件数で配信が可能であったが、事情によりそれが叶わず、他にWEB上での配信を考えた結果、メルマガとなった。
- 委員長 郵送という方法は確かに回答率が上がるが、今回はWEBやSNSというツールの使用という点にこだわりがあり、このような形で実施した。
- 委員 メルマガは読まれることが少ないという印象を持っている。
- 事務局 そういった点では、サポートセンターのメルマガが読まれているかどうか、という部分にも響く内容になった。
- 委員長 回答率を上げるため、アンケートは2回配信した。通常メルマガに加え、数日後には特別版という形でアンケートのみ配信してもらっている。
- 委員 数字の点では勿体ないと感じる。
- 委員 サポセン登録団体なので私も登録しているが、今回のアンケートを受信した記憶がない。

委員長

活動者には高齢者が多い。その世代にとっては郵送という方法に強みがあり、WEBやSNSはあまりなじまないのかな、という印象である。
なじまないからWEBやSNSがダメということではなく、大事な連絡が届かないと困る場面もあるかもしれない。システム上の課題も踏まえて検討してみる必要がある。メルマガは情報発信をできる折角の機会でもある。

4 その他

事務局から令和4年度の審議会開催予定に関する事務連絡。

5 閉 会